



インストールマニュアル(参考資料)

AdRem NetCrunch 9

AdRem NetCrunch 9 インストールマニュアル

NetCrunch は AdRem Software が開発し所有する監視ソフトウェアである。
株式会社情報工房は日本における総販売代理店である。

©2017 Johokobo, Inc.

1. ADREM NETCRUNCH 9 – プログラム説明	1
1.1 プログラムエディション	1
1.2 プログラム構成	1
1.3 インストーラー構成	3
2. ADREM NETCRUNCH 9 – 必要システム要件	4
2.1 NETCRUNCH 9 サーバー	4
2.2 NETCRUNCH 9 サーバーサポート OS	4
2.3 NETCRUNCH 9 コンソール	4
2.4 NETCRUNCH 9 コンソールサポート OS	4
2.5 NETCRUNCH 9 WEB アクセス	5
3. ADREM NETCRUNCH 9 のインストール	6
3.1 イントロダクション	6
3.2 NETCRUNCH サーバープログラムとライセンスのダウンロード	6
3.3 NETCRUNCH サーバープログラムのインストール	8
3.4 NETCRUNCH サーバーライセンスのインストール	13
3.5 NETCRUNCH リモートアクセスライセンスのダウンロード	14
3.6 NETCRUNCH リモートアクセスライセンスのインストール	15
3.7 NETCRUNCH コンソールプログラムのダウンロード	15
3.8 NETCRUNCH コンソールプログラムのインストール	16
4. ADREM NETCRUNCH 8 から 9 へのアップグレード	19
4.1 イントロダクション	19
4.2 アップグレードの手順	20
4.3 NETCRUNCH 9 データ引き継ぎ項目	24
5. ライセンスの更新	26
5.1 イントロダクション	26
5.2 ライセンスの更新手順	26
6. ADREM NETCRUNCH 9 のマイナーバージョンアップ	28
6.1 イントロダクション	28
6.2 マイナーバージョンアップの手順	28
6.3 マイナーバージョンアップの注意事項	29
7. その他	31
7.1 仮想マシン上へのインストールの注意	31
7.2 ADMIN のパスワードのリセット	32
8. 評価版について	33
9. ADREM SOFTWARE 使用許諾	34

1. AdRem NetCrunch 9 – プログラム説明

1.1 プログラムエディション

本資料では、AdRem NetCrunch バージョン 9.3.3.3896 日本語版(以下 9)について記載しております。

AdRem NetCrunch 9 には次のエディションがあります。

- ・ Premium
- ・ Premium XE

1.2 プログラム構成

AdRem NetCrunch 9 はサーバー/クライアント構成が採用されております。Premium/Premium XE には次のプログラムコンポーネントによって構成されております。

・ AdRem NetCrunch サーバー

全てのコンポーネント(AdRem NetCrunch コンソール、AdRem NetCrunch Web サーバー、AdRem NetCrunch コネクションブローカー)と作成されたネットワークアトラスの全てのデータを保存するデータベースを含みます。このコンポーネントは、Windows オペレーティングシステム(詳細はシステム要件をご参照ください)が動作しているマシン上にインストールすることができます。ユーザーが保有するライセンス数に応じて、複数のマシンに複数の NetCrunch サーバーをインストールすることができます。

NetCrunch サーバーはリモートから Web アクセス(Web ブラウザ経由でのアクセス)、または NetCrunch コンソールを用いて、接続することができます。Web アクセスは NetCrunch サーバーに設定されている各ユーザーの資格情報を使用して接続します。

NetCrunch コンソールは、NetCrunch コネクションブローカーを用いて NetCrunch に指定されている資格情報を確認して接続します。そのため、NetCrunch サーバーはユーザーによって指定された特有の資格情報を持ちます。資格情報はリモートにある Windows マシンにインストールされている複数の NetCrunch コンソールで同時接続するために使用されます。NetCrunch サーバーの資格情報は NetCrunch コネクションブローカーに確認されます。そして、NetCrunch コンソールは NetCrunch サーバーに直接接続されます。

・ AdRem NetCrunch コンソール

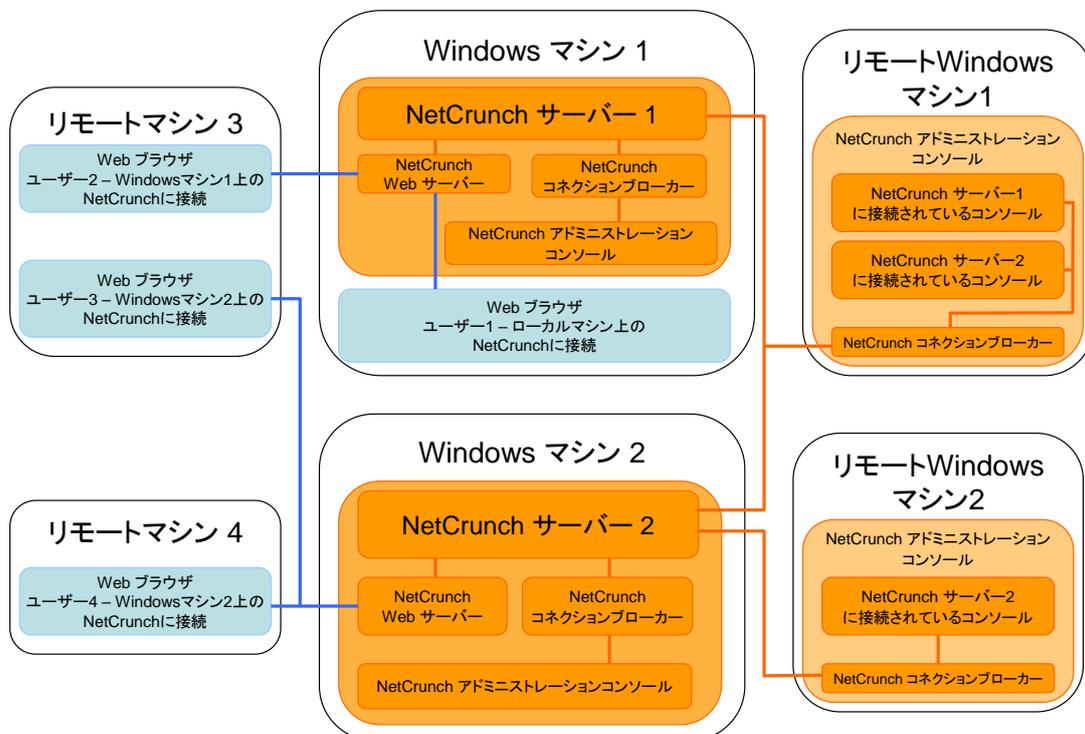
ネットワーク監視に関係する全てのタスクを管理するためのグラフィカル・ユーザー・インターフェースを提供します。NetCrunch コンソールと NetCrunch コネクションブローカーは NetCrunch サーバーコンポーネントから分割されたインストーラーが提供されます。そのため、Windows オペ

レーティングシステムが動作している複数のマシン上に NetCrunch コンソールをインストールすることができます。また、ユーザーは監視するネットワークの中に複数の NetCrunch サーバーをインストールすることができます。複数のコンソールをリモートマシン上で同時実行することができます。この場合、異なる NetCrunch サーバーと NetCrunch サーバーからのイベント通知受信を独立して接続することができます。NetCrunch サーバーと NetCrunch コンソールとの接続には NetCrunch コネクションブローカーが使用されます。

・ AdRem NetCrunch コネクションブローカー

NetCrunch サーバーと NetCrunch コンソールとの間に接続を確立します。NetCrunch コネクションブローカーは、NetCrunch コンソールのインストールとともにインストールされます。NetCrunch コネクションブローカーは次のタスクを提供します。

- NetCrunch サーバーの資格情報を確認することで、NetCrunch サーバーと NetCrunch コンソールとの間に接続を確立します。
- 接続している全ての NetCrunch サーバーからのデスクトップ通知ウィンドウの表示を NetCrunch コンソールが動作しているマシン上に表示します。
- NetCrunch サーバーと資格情報のリストを管理します。



1.3 インストーラー構成

AdRem NetCrunch 9 Premium/Premium XE は、次の 2 つのインストーラーに分割されています。

- **NC9Server.exe**

AdRemNetCrunch サーバーをサーバーマシンにインストールします。NC9Server.exe には、コンソール、コネクションブローカーが含まれます。サーバーマシン上でユーザインターフェースを利用する場合は、このインストーラーのみで全ての機能をインストール可能です。

- **NC9Console.exe**

コンソール、コネクションブローカーをリモートマシンにインストールします。他のマシンにインストールされた任意の NetCrunch サーバーに接続し、グラフィカルユーザインターフェースによる管理機能を使用することができます。コンソール、コネクションブローカーには監視機能自体は提供されない為、必ず NetCrunch サーバーがインストールされたサーバーマシンに接続して使用します。

なお、NC9Server.exe をインストールしたサーバーマシンには、NC9Console.exe のインストールは不要です。

2. AdRem NetCrunch 9 – 必要システム要件

2.1 NetCrunch 9 サーバー

最小システム要件	推奨システム要件
プロセッサ	
4 コアプロセッサ	8 コアプロセッサ以上
メモリ	
4 GB	8GB 以上
ディスク	
HDD ドライブ	SSD ドライブ

2.2 NetCrunch 9 サーバーサポート OS

- Windows Server 2008 R2
- Windows Server 2012
- Windows Server 2012 R2
- Windows Server 2016

2.3 NetCrunch 9 コンソール

システム要件
プロセッサ
2 コアプロセッサ以上
メモリ
2 GB 以上

2.4 NetCrunch 9 コンソールサポート OS

- Windows 7
- Windows 8

- Windows 8.1
- Windows 10

2.5 NetCrunch 9 Web アクセス

最小システム要件

ウェブブラウザ

Firefox、Chrome、Opera、Safari(Mac OS のみ)
Internet Explorer 11、Microsoft Edge

その他

Adobe Flash Player

3. AdRem NetCrunch 9 のインストール

3.1 イントロダクション

AdRem NetCrunch サーバーは管理者コンピュータごとにライセンスを必要とします。つまり、一つのライセンスは一つのコンピュータのみにインストールすることができます。同一のライセンスを二つ以上のコンピュータにインストールすることは違法です。プログラムを Web ブラウザからアクセスするか、リモートからコンソールを利用するには、AdRem NetCrunch リモートアクセスのライセンスが必要になります。リモートアクセスライセンスのインストール手順は「NetCrunch リモートアクセスライセンスのダウンロード」のセクションを参照願います。

NetCrunch のライセンスは*.als ファイルと Activate.key ファイルで構成されています。複数の管理者コンピュータにて NetCrunch を使用するにはワークステーションと同じ数のライセンスを購入する必要があります。複数のライセンスを購入した場合、購入した数の*.als ファイルと一つの Activate.key ファイルが送られます。すなわち、全ライセンスに対して同じ Activate.key を使用します。

3.2 NetCrunch サーバープログラムとライセンスのダウンロード

NetCrunch サーバープログラムとライセンスのダウンロード手順は以下になります。

1. NetCrunch のインストールファイルとライセンスファイルをダウンロードするにはお客様用のポータルサイト MyAdRem にアクセスする必要があります。MyAdRem のアクセスに使用するリンク、パスワード、と ID が含まれたメールが、ご購入後 AdRem Software から送られます。メールの情報は今後のアップグレード版をダウンロードする際に必要となるため、この通知メールは安全な場所に保存してください。
MyAdRem に関しては、製品に同封されている『お客様ポータルサイト MyAdRem 利用ガイド』を参照願います。
2. メール内のリンクを Web ブラウザから開いてください。MyAdRem のログインページが開かれます。“メールアドレス”フィールドに AdRem Software からのメールに記されている ID を入力します。通常、この ID とは発注の際に指定したエンドユーザーのメールアドレスになります。同じページの“パスワード”フィールドにメールに記されているパスワードを入力します。これでポータルのメインページが開かれ、ご購入の全製品が表示されます。
3. 製品リストから NetCrunch 9.x Premium XE または NetCrunch 9.x Premium を選択することによってプログラムのダウンロードページが開かれます。NetCrunch のインストールファイルに加えてライセンスファイル(Activate.key ファイルと NetCrunch をインストールする管理者ワークステーション毎の*.als ファイル)があります。

インストールファイルのダウンロード:

バージョンアップのお客様、及び製品パッケージ版の CD-ROM を利用しない場合は、プログラムの最新インストールファイルのダウンロードを行います。

4. プログラムのインストールファイルのダウンロードに進みます。“Network Monitoring Server with Local Administration Console”をクリックしますと、ファイル保存のダイアログが開かれます。
5. 保存先パスにローカルマシンのドライブ・フォルダを指定します。

ライセンスファイルのダウンロード:

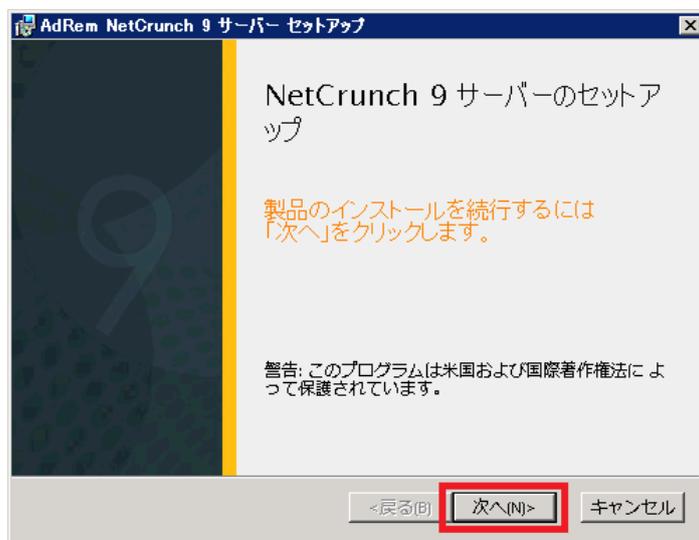
プログラムのライセンスファイルのダウンロードを行います。

6. NetCrunch のライセンスファイルをダウンロードします。ライセンスは一つの圧縮 (ZIP) ファイル、もしくは*.als と Activate.key ファイルを個別にダウンロードできます。希望する方法に該当するリンクをクリック(ライセンスを全て ZIP ファイルにしてダウンロードするまたは*.als と activate.key をそれぞれ選択)。ライセンスファイルはネットワーク上のドライブではなく必ず NetCrunch をインストールするワークステーション上のドライブの任意のフォルダに保存します。間違いを避けるために、新規の専用フォルダを作成することを推奨します。ZIP ファイルを選択した場合、ダウンロード後にファイルを解凍してからのご利用をお願い致します。

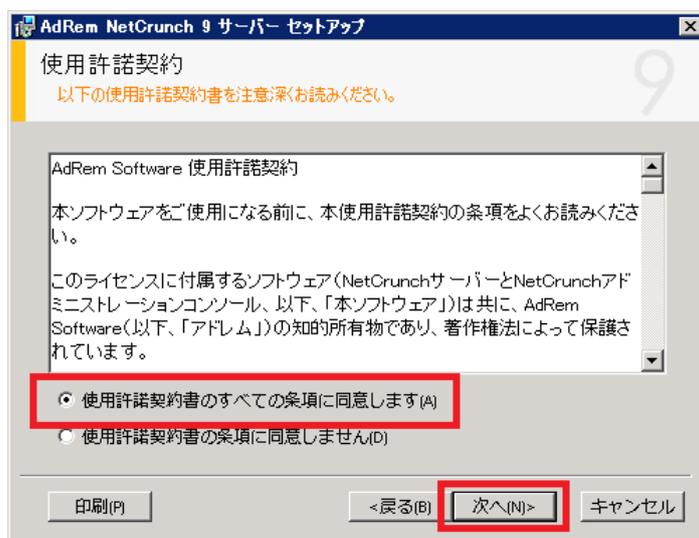
3.3 NetCrunch サーバープログラムのインストール

NetCrunch サーバープログラムのインストール手順は以下になります。

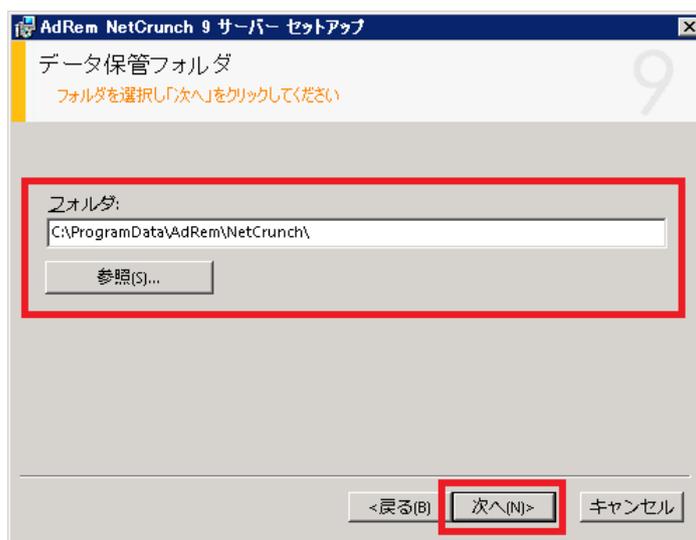
1. NetCrunch サーバークのインストールには、ローカルディスクに保存したインストールファイル (NC9Server.exe) を右クリック→[管理者として実行]を選択し、インストールウィザードに従って行います。以下の画面が表示されますので、[次へ]をクリックします。



2. 以下の画面が表示されますので、使用許諾契約をお読みの上[使用許諾契約の条項に同意します]にチェックし、[次へ]をクリックします。



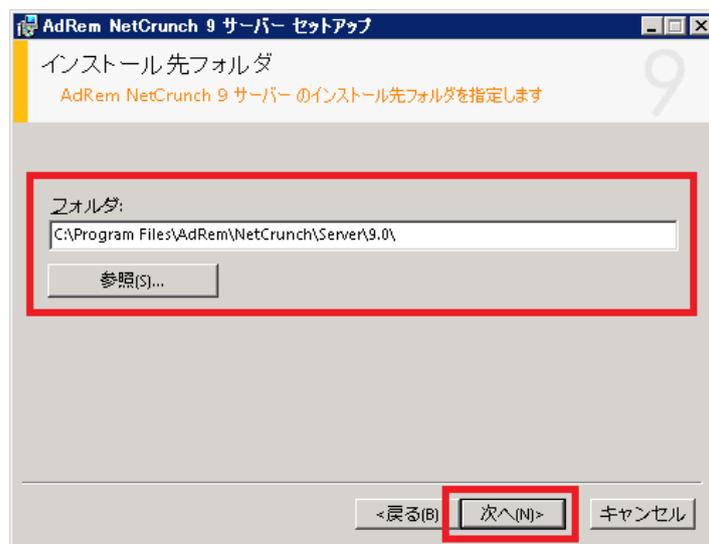
- 以下の画面が表示されますので、プログラムのインストール先フォルダを指定し、[次へ]をクリックします。



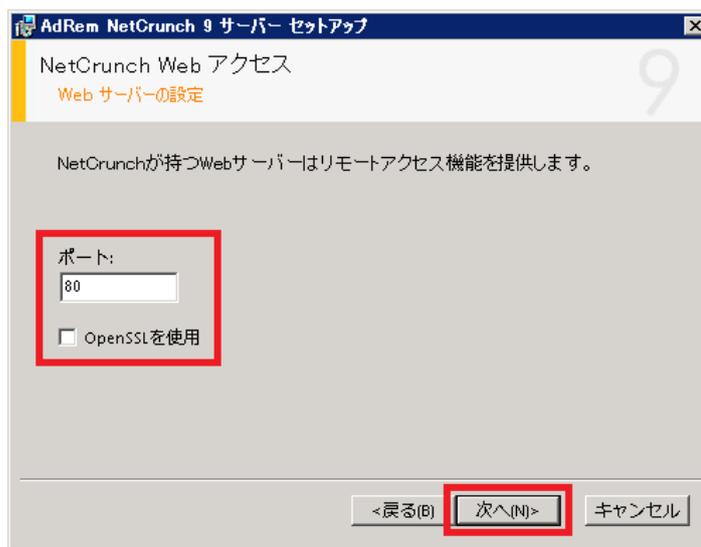
- 以下の画面が表示されますので、データ保管フォルダを指定し、[次へ]をクリックします。

注意:

プログラムインストールフォルダとデータ保管フォルダは、別のフォルダを指定することを推奨しております。同じフォルダを指定した場合、NetCrunch 9 のアンインストール時にデータ保管フォルダもプログラムインストールフォルダと共に削除されます。

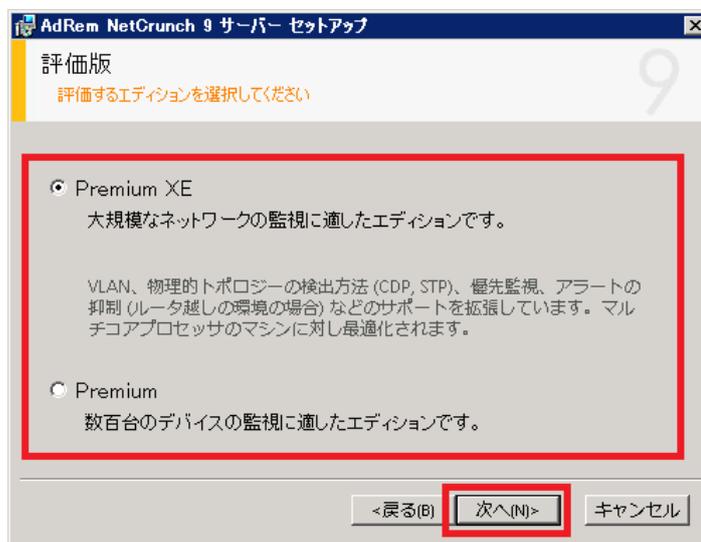


5. Web サーバーの設定を行います。Web アクセスを利用時のアクセスポートと OpenSSL の使用について設定します。以下の画面が表示されますので、ポートとオプションを設定の上、[次へ]をクリックします。

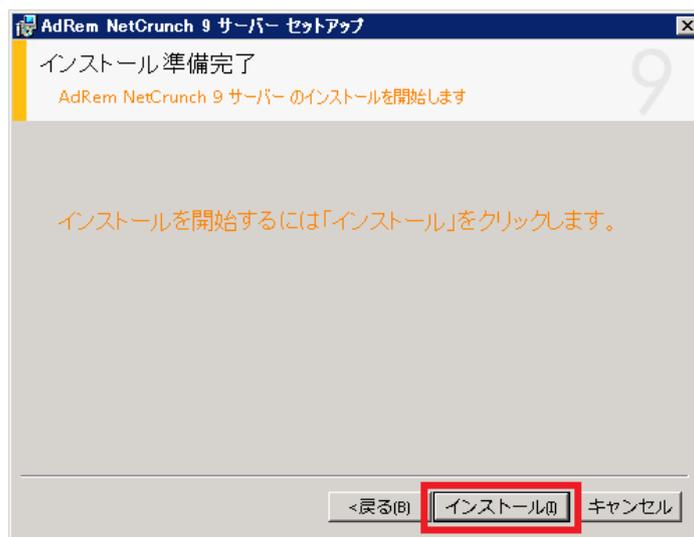


6. 以下の画面が表示されますので、評価版のエディションを選択の上、[次へ]をクリックします。
注意:

再インストールなど、既にライセンスがインストールされている場合であっても、評価版のエディションの選択画面が表示されます。インストール完了後にインストール済みのライセンスが適用されます。



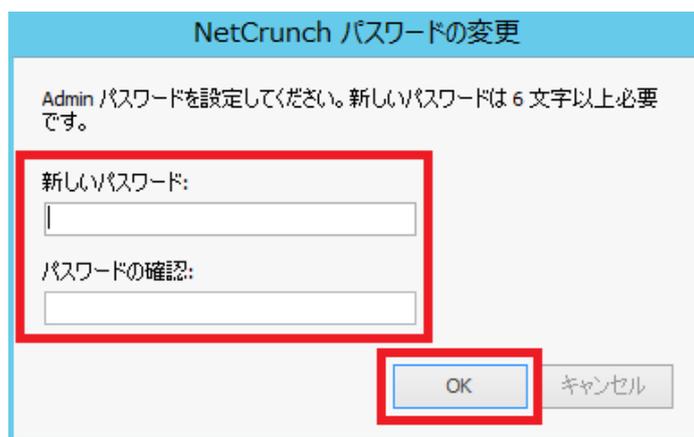
7. 以下の画面が表示されます。[インストール]をクリックし、インストールを開始します。



8. 以下の画面が表示されますので、NetCrunch コンソールをすぐに実行する場合は、[コンソールの起動]をチェックします。[「Getting Started」のページを開く]をチェックしていると、AdRem Software 社の Web ページが表示されます。[完了]をクリックすると、ウィザードを終了します。



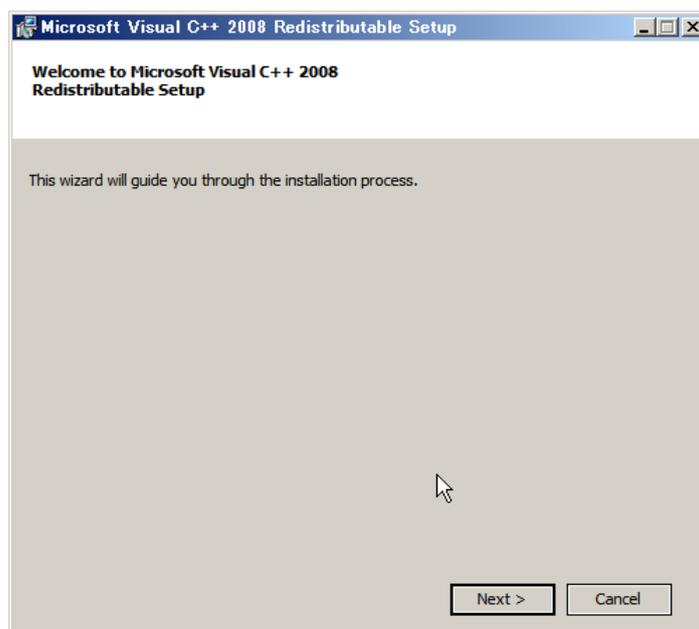
9. コンソールを起動すると、以下の画面が表示されます。パスワードを設定の上、[OK]をクリックすると、コンソールを起動できます。



The screenshot shows a dialog box titled "NetCrunch パスワードの変更" (NetCrunch Password Change). The text inside reads: "Admin パスワードを設定してください。新しいパスワードは 6 文字以上必要です。" (Please set the Admin password. The new password must be at least 6 characters long). There are two input fields: "新しいパスワード:" (New Password) and "パスワードの確認:" (Confirm Password). Both fields are highlighted with a red border. At the bottom right, there are two buttons: "OK" and "キャンセル" (Cancel). The "OK" button is also highlighted with a red border.

注意:

NetCrunch のインストール中、環境によっては Microsoft Visual C++ Redistributable Setup のウィザードが起動します。起動した場合は、NetCrunch のインストールに必要ですので、インストールをご検討ください。



3.4 NetCrunch サーバーライセンスのインストール

NetCrunch をインストールしたのち、正規版として稼動するためには、ライセンスをインストールする必要がございます。NetCrunch サーバーライセンスのインストール手順は以下になります。

コンソール起動時の画面からインストールする方法:

1. NetCrunch が評価版として稼動している場合、起動時の画面にて[ライセンスのインストール]が表示されます。[ライセンスのインストール]をクリックします。
2. ライセンスファイルを保存したフォルダから*.als ファイルを選択し、[開く]ボタンをクリックすると、NetCrunch サーバーのライセンスがインストールされます。

NetCrunch オプションからインストールする方法:

1. NetCrunch のメインメニューから[ツール]→[オプション]→[一般]→[ライセンスマネージャ]を選択します。
2. ライセンスマネージャにて[ライセンスのインストール]ボタンをクリックします。ライセンスファイルを保存したフォルダから*.als ファイルを選択し、[開く]ボタンをクリックすると、NetCrunch サーバーのライセンスがインストールされます。

注意:

NetCrunch は、インストール時に評価版のライセンスのエディションを選択します。購入したライセンスが評価版にて選択したものと異なる場合、ライセンスのインストール操作後に自動的に NetCrunch サーバーが再起動します。コンソールについては、手動にて再起動を行ってください。

- ライセンスインストールのエラー
- ライセンスのインストールに失敗した場合には以下の可能性があります:
- ライセンスのファイル破損
- *.als を保存したフォルダに activate.key ファイルがない
- どちらかのファイルが読み取り専用の属性を持っている
- マップされたネットワーク上のドライブにライセンスファイルを保存
- Windows のレジストリを変更もしくは削除

ライセンスのインストールに関する質問は netcrunch@johokobo.co.jp へお問い合わせください。

3.5 NetCrunch リモートアクセスライセンスのダウンロード

NetCrunch リモートアクセスは、Web ブラウザもしくはリモートマシン上からコンソールを利用して、操作や NetCrunch データへのアクセスが可能です。また、Web ブラウザからのアクセスについては、特定のプログラムオブジェクトと操作へのユーザーのアクセス権を制限できます。例えば、1 リモートユーザーにネットワークの特定のセグメントのマップの閲覧を許可できます。

NetCrunch リモートアクセスは、本体ライセンスにリモートアクセスライセンスが 1 ユーザー付属しております。NetCrunch リモートアクセスライセンスを購入、インストールすることで、同時にプログラムにアクセスするリモートユーザーの数を増やすことが可能です。ライセンスタイプは、リモートユーザー数が 5 ユーザー、または無制限の 2 種類があります。プログラムライセンスのように、NetCrunch リモートアクセスライセンスは、*.als ファイルと Activate.key ファイルから成り立っています。

NetCrunch リモートアクセスライセンスのダウンロード手順は以下になります。

1. NetCrunch リモートアクセスライセンスのファイルをダウンロードするにはお客様用のポータルサイト MyAdRem にアクセスする必要があります。MyAdRem のアクセスに使用するリンク、パスワード、と ID が含まれたメールが、ご購入後 AdRem Software から送られます。メールの情報は今後のアップグレード版をダウンロードする際に必要となるため、この通知メールは安全な場所に保存してください。
MyAdRem に関しては、製品に同封されている『お客様ポータルサイト MyAdRem 利用ガイド』をご参照ください。
2. メール内のリンクを Web ブラウザから開いてください。MyAdRem のログインページが開きます。“メールアドレス”フィールドに、AdRem Software からのメールに記されている ID を入力します。通常、この ID は発注の際に指定したエンドユーザーのメールアドレスになります。同じページの“パスワード”フィールドに、メールに記されているパスワードを入力します。これでポータルのメインページが開かれ、ご購入の全製品が表示されます。
3. Licensed Products の下の NetCrunch 9 Remote Access のリンクを選択することで、プログラムのダウンロードページが開きます。ライセンスファイル(Activate.key ファイルと NetCrunch をインストールする管理者ワークステーション毎の*.als ファイル)があります。
4. NetCrunch リモートアクセスファイルをダウンロードします。NetCrunch のダウンロードページから圧縮.ZIP ファイル、もしくは*.als ファイルと Activate.key ファイルをひとつずつダウンロードできます。希望する方法に該当するリンク(ライセンスを全て.ZIP ファイルにしてダウンロードする、または.als と Activate.key をそれぞれ選択)をクリックします。
ライセンスファイルはネットワーク上のドライブではなく必ず NetCrunch をインストールするワークステーション上のドライブの任意のフォルダに保存します。ただし、プログラムのライセンスをダウンロードしたフォルダとは別のフォルダを必ずご使用下さい。間違いを避けるために、新規の専用フォルダを作成することを推奨します。ZIP ファイルを選択した場合は、ダウンロード後にファイルを解凍してからのご利用をお願い致します。

3.6 NetCrunch リモートアクセスライセンスのインストール

NetCrunch サーバーライセンスのインストール手順は以下になります。

1. NetCrunch のメインメニューから[ツール]→[オプション]→[一般]→[ライセンスマネージャ]を選択します。
2. ライセンスマネージャから[ライセンスのインストール]ボタン(緑の[+])をクリックし、リモートアクセスライセンスを保存したフォルダから*.als ファイルを選択します。[開く]ボタンをクリック。NetCrunch のリモートアクセスライセンスがインストールされます。ライセンスはプログラムの評価版ではなく正規版のみにインストールできます。
3. 購入されたリモートアクセスライセンスの種類により、5 ユーザー、または無制限のユーザーがプログラムに同時にアクセスできるようになります。

3.7 NetCrunch コンソールプログラムのダウンロード

NetCrunch コンソールは、リモートマシンにコンソールをインストールできます。リモートからコンソールを利用する場合、リモートアクセスライセンスから 1 ユーザーの接続を使用します。また、NetCrunch コンソールを利用する場合は、NetCrunch サーバーと同一のバージョンをご利用ください。

なお、NC9Server.exe をインストールしたサーバーマシンには、NC9Console.exe のインストールは不要です。

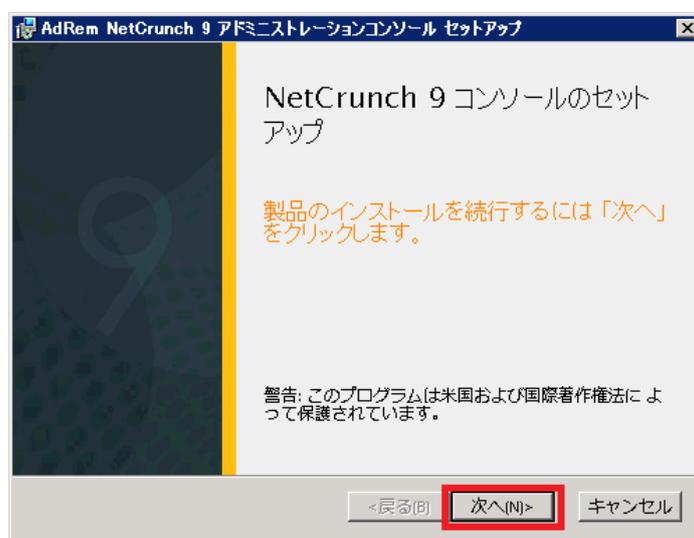
NetCrunch コンソールプログラムのダウンロード手順は以下になります。

1. NetCrunch リモートアクセスライセンスのファイルをダウンロードするにはお客様用のポータルサイト MyAdRem にアクセスする必要があります。MyAdRem のアクセスに使用するリンク、パスワード、と ID が含まれたメールが、ご購入後 AdRem Software から送られます。メールの情報は今後のアップグレード版をダウンロードする際に必要となるため、この通知メールは安全な場所に保存してください。
MyAdRem に関しては、製品に同封されている『お客様ポータルサイト MyAdRem 利用ガイド』をご参照ください。
2. メール内のリンクを Web ブラウザから開いてください。MyAdRem のログインページが開きます。“メールアドレス”フィールドに、AdRem Software からのメールに記されている ID を入力します。通常、この ID は発注の際に指定したエンドユーザーのメールアドレスになります。同じページの“パスワード”フィールドに、メールに記されているパスワードを入力します。これでポータルのメインページが開かれ、ご購入の全製品が表示されます。
3. Licensed Products の下の製品リストから NetCrunch 9.x Premium XE または NetCrunch 9.x Premium を選択することによってプログラムのダウンロードページが開かれます。
4. MyAdRem からプログラムのインストールファイルのダウンロードに進みます。コンソールのインストールファイルをダウンロードするには“Remote Administration Console”を選択すると、ファイル保存のダイアログが開かれます。インストールファイル(NC9Concole.exe)をローカルディスクに保存します。

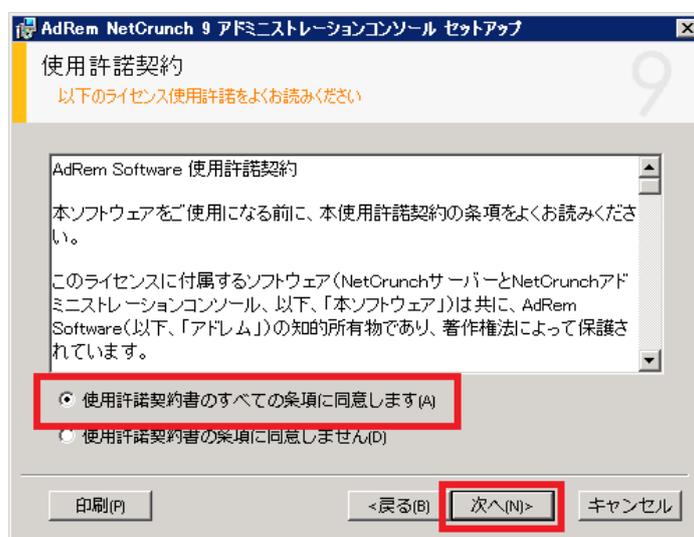
3.8 NetCrunch コンソールプログラムのインストール

コンソールのインストール手順は以下になります。

1. コンソールのインストールを行います。ダウンロードしたインストールファイル (NC9Concole.exe) を右クリック→[管理者として実行]を選択すると、以下の画面が表示されますので[次へ]をクリックします。

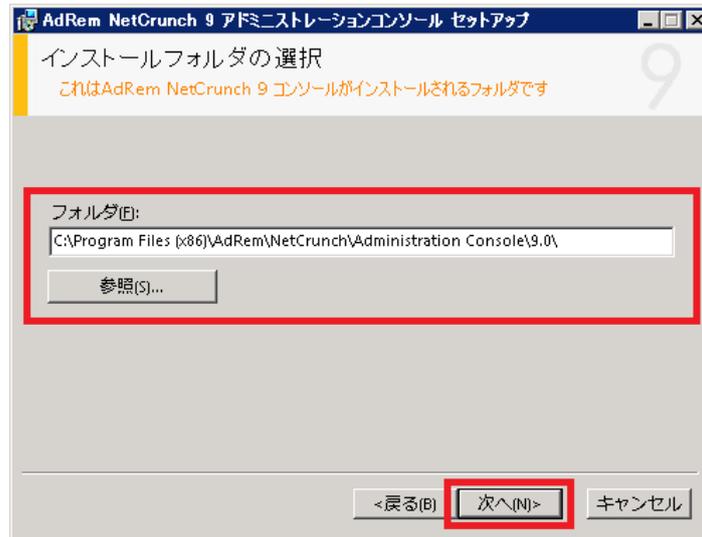


2. 以下の画面が表示されますので、使用許諾契約をお読みの上、“使用許諾契約の条項に同意します”をチェックし、[次へ]をクリックします。

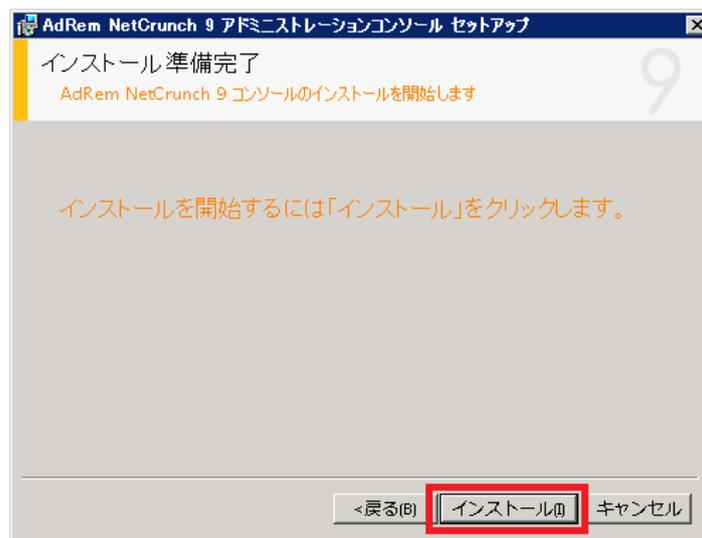


AdRem NetCrunch 9 のインストール

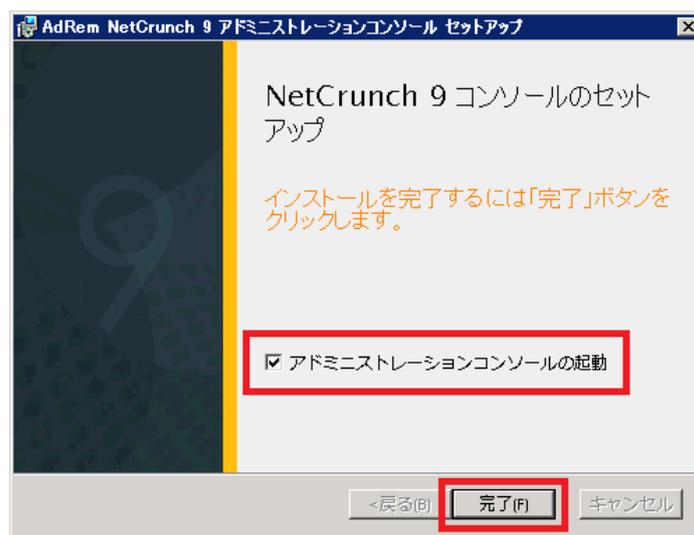
- 以下の画面が表示されますので、インストール先を指定し、[次へ]をクリックします。



- 以下の画面が表示されますので、[インストール]をクリックします。



5. 以下の画面が表示されますので、コンソールをすぐに実行する場合は[コンソールの起動]をチェックし、[完了]をクリックします。



6. コンソールを起動し、必要項目を入力し、“OK”をクリックします。
7. NetCrunch の構成が正確である場合、NetCrunch コネクションブローカーは自動的に NetCrunch と接続し、プログラムから通知の受信が始まります。また、コンソールが開きます。

4. AdRem NetCrunch 8 から 9 へのアップグレード

4.1 イントロダクション

NetCrunch 9 では、前バージョン NetCrunch 8 のデータを引き継ぐアップグレード機能が搭載されています。アップグレードについては、製造元、弊社とも十分な検証を実施しておりますが、万一の場合に備えてアップグレード実施前はバックアップデータの取得、NetCrunch 8 の設定の控えをあらかじめ準備していただきますようお願いいたします。また、アップグレード実施後には、NetCrunch 8 との設定比較を実施いただきますようお願いいたします。

NetCrunch 8 を NetCrunch 9 にアップグレードする方法(使用していたアトラスなどのデータを引き継ぐ)には、以下の2つの方法があります。

- ・ NetCrunch 8 を使用しているサーバーマシンに NetCrunch 9 をインストールしてアップグレードする方法
- ・ NetCrunch 8 のバックアップデータを NetCrunch 9 にインポートする方法

前者は、NetCrunch 8 がインストールされた状態のサーバーマシンに NetCrunch 9 インストールする方法となります。

後者は、すでにサーバーマシンにインストール済みの NetCrunch 9 に対して、NetCrunch 8 のバックアップファイル(.ncb ファイル)を NetCrunch 9 のメインメニューから[ファイル]→[メンテナンス]→[アトラスバックアップファイルのインポート]と選択してインポートする方法となります。

アップグレード、インポートそれぞれの方法で引き継ぎできる項目が異なります。また、インポートの場合、使用するバックアップファイルによっても引き継ぎできる項目が異なります。アップグレード、インポートによる NetCrunch 9 へのデータの引き継ぎ項目の詳細は、表 1 データ引き継ぎインポート／アップグレード比較表に一覧を記載しています。

なお、NetCrunch 9 での変更点については、リリースノートにてご確認ください。

注意:

アップグレード時、再起動をうながすメッセージが表示される場合があります。メッセージが表示された場合には、サーバーの再起動をご試行ください。

注意:

アップグレードおよびインポートは、バージョン 8.7.3.3472 日本語版のみサポートしています。

注意:

NetCrunch はダウングレード機能を搭載しておりません。そのため、NetCrunch 9 をインストール後、NetCrunch 8 に戻すことはできません。

4.2 アップグレードの手順

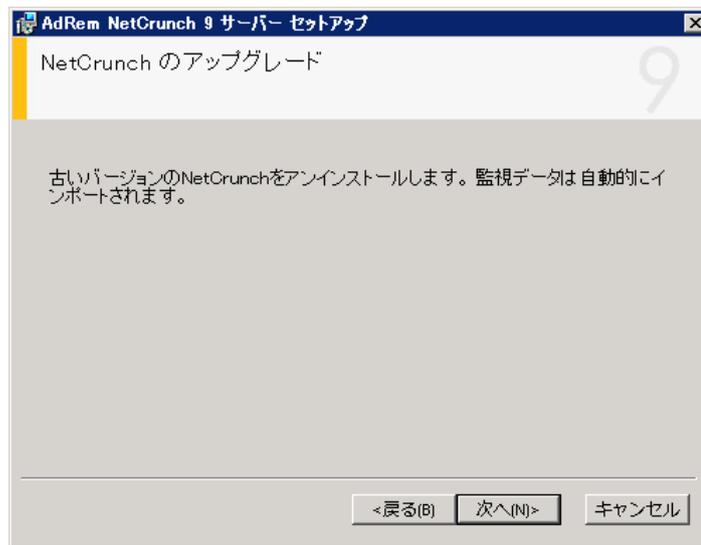
NetCrunch サーバープログラムのアップグレードの手順:

アップグレード実施前に、NetCrunch 8 でのアトラスのバックアップファイルの取得をお願いします。

1. 「NetCrunch サーバープログラムとライセンスのダウンロード」セクションに従い、プログラムとライセンスのファイルをダウンロードします。
2. NetCrunch8 を停止します。コネクションブローカーなどが起動している場合は、終了します。
3. ローカルディスクに保存したインストールファイル(NC9Server.exe)を右クリック→[管理者として実行]を選択し、インストールのウィザードを開始します。
4. NetCrunch 8 がインストールされている場合は、下記の画面が表示されます。下記の画面にて NetCrunch サーバーライセンスをインストールの上、[次へ]をクリックします。



5. 下記の画面が表示されます。NetCrunch 8 のアンインストールと、NetCrunch 8 から NetCrunch 9 へのアップグレードが行われます。



6. [次へ]をクリックし、ウィザードに従ってインストールを開始します。

注意:

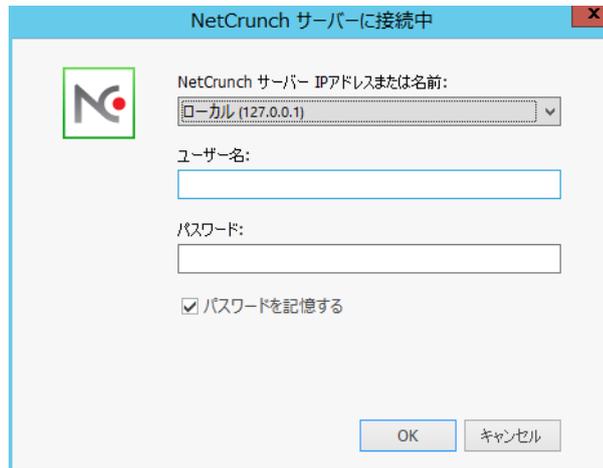
NetCrunch 9 のインストールが開始されると、NetCrunch 8 がアンインストールされます。NetCrunch 9 のインストールをキャンセルしますと、NetCrunch がインストールされていない状態となりますのでご注意ください。

7. プログラムインストール後、リモートアクセスライセンスをインストールする場合は、「NetCrunch リモートアクセスライセンスのインストール」セクションをご参照ください。

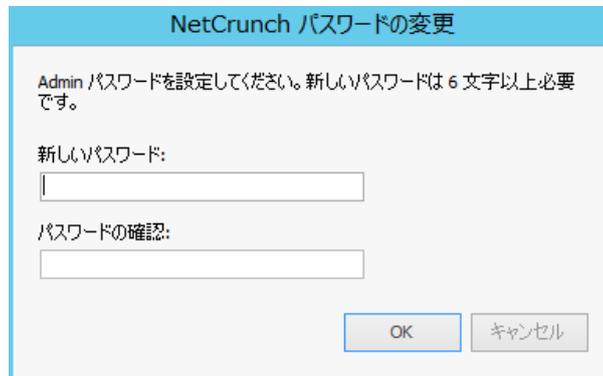
NetCrunch コンソールの利用について:

NetCrunch 9.2 での仕様変更により、コンソールでの接続の際にユーザーとパスワードの入力が必要となりました。ローカル (NetCrunch 搭載サーバー上) のコンソールの場合は、ユーザーに Admin を使用します。アップグレード後コンソールを起動すると以下の画面が表示されます。

NetCrunch 8 で Admin のパスワードを設定している場合：



NetCrunch 8 にて Admin にパスワードを設定していない場合：



前者の場合は、Admin とパスワードを入力の上、コンソールを起動してください。後者の場合は、Admin のパスワードを設定すると、コンソールを起動できます。

NetCrunch コンソールプログラムのアップグレードの手順：

1. 「NetCrunch コンソールプログラムのダウンロード」セクションに従い、プログラムのインストールファイルをダウンロードします。
2. 現在使用している NetCrunch コンソールを終了します。
3. タスクトレイ上から現在使用している NetCrunch コネクションブロッカーを終了します。
4. ローカルディスクに保存したインストールファイル(NC9Console.exe)を右クリック→[管理者として実行]を選択し、インストールのウィザードを開始します。
5. ウィザードに従ってインストールを完了します。

6. コンソールを起動し、必要項目を入力し、“OK”をクリックします。
7. NetCrunch の構成が正確である場合、NetCrunch コネクションブローカーは自動的に NetCrunch と接続し、プログラムから通知の受信が始まります。また、コンソールが開きます。

4.3 NetCrunch 9 データ引き継ぎ項目

NetCrunch 8 から NetCrunch 9 へのデータ引き継ぎインポート／アップグレードの項目を表に示します。インポートの場合、使用するバックアップファイルによって、引継ぎできる項目が異なります。バックアップファイルを、選択バックアップにて作成した場合は「選」の項目を、フルバックアップにて作成した場合は「フ」の項目をご確認ください。

表 1 データ引き継ぎインポート／アップグレード比較表

(選: インポート(選択バックアップ)、フ: インポート(フルバックアップ)、ア: アップグレード)

	項目	選	フ	ア	補足
1	mib.dat (追加コンパイルした MIB 定義)	×	○	○	-
2	MIB フィルター	×	×	○	-
3	仮想パフォーマンスカウンタ	○	○	○	-
4	監視依存関係	○	○	○	-
5	ユーザープロフィール	×	○	○	-
6	SNMP プロフィール	×	△	△	NetCrunch 8 において SNMP プロフィールの Notification に SNMPv1 または SNMPv2c を設定している場合、NetCrunch 9 には引き継がれません。
7	Web アクセス権	×	×	×	NetCrunch 9.2 にて、Web アクセス権の仕様変更されました。仕様変更により、Web アクセス権に設定できる権限が異なります。設定によっては、Web アクセス権が継承される場合がございますが、アップグレード後には確認をお願いします。
8	ノードの設定	△	○	○	認証情報を設定している場合、選択バックアップでは引き継ぐことができません。
9	マッププロパティ	○	○	○	-
10	アトラスプロパティ	○	○	○	-
11	SNMP ビュー	×	○	○	-
12	アトラスマップ (各種マップの構成)	○	○	○	-
13	マップレイアウト	○	○	○	マップが<編集済みカスタムマップ>となっている場合は、あらかじめビジュアルマップの共有を設定する必要があります。マップに<カスタムグループ>を設定している場合は、「レイアウト: <カスタムグループ>」

					のプルダウンメニューの「名前を付けて保存」からレイアウトを保存する必要があります。
14	イベント定義	○	○	○	-
15	イベント割り当て (イベントログのイベントの割り当て)	×	×	×	-
16	イベントログフィルター	×	×	×	-
17	アクションの定義	○	○	○	-
18	アクション割り当て (メッセージ変換フォーマットの割り当て)	○	○	○	-
19	アラートメッセージ形式	○	○	○	-
20	レポート	○	○	○	-
21	監視データ (イベントログ、トレンドデータ)	○	○	○	選択バックアップの場合、イベントログとトレンドデータをバックアップファイルに含めるか選択できます。
22	アイコン	×	○	○	-
23	デバイスリスト	×	○	○	-
24	トレンドエクスポート	×	×	○	-
25	カスタムネットワークサービス定義	×	○	○	-
26	Open Monitor	○	○	○	-
27	ツール／オプション関連	×	△	△	以下の項目は引き継がれません: <ul style="list-style-type: none"> ・一般＞サーバー ・一般＞確認メッセージ ・一般＞イベントデータベース ・一般＞アップデート通知 ・監視＞Flows (インポートの場合) ・通知＞通知ウィンドウ ・マップのアイコン、スタイル以外の各項目 また、監視＞デフォルトの認証情報において設定していない OS がある場合、アップグレード後、デフォルトの認証情報の設定画面が表示されます。

注意:

NetCrunch 8 を Active Directory 環境上にインストールしており、NetCrunch 8 を Active Directory アカウントにて稼働させていた場合、Windows エージェントレス監視の認証が自動で行われております。この場合、NetCrunch 9 へのアップグレード後に Windows エージェントレス監視の認証情報の入力が必要となります。

なお、デフォルトインストールの場合、NetCrunch 8 はローカルシステムアカウントにて稼働しております。また、NetCrunch 9 を Active Directory アカウントにて稼働させたい場合は、インストール後、Windows のサービス一覧にて「AdRem NetCrunch Server」のプロパティから変更できます。

5. ライセンスの更新

5.1 イン트로ダクション

NetCrunch は、インストールしたライセンスにあわせて保守期限が適用されます。NetCrunch に適用されている保守期限は、NetCrunch のメインメニュー→[?]→[バージョン情報]にてご確認いただけます。

保守契約を更新していただきますと、MyAdRem 上にあるライセンスファイルが更新されます。新しいライセンスファイルを NetCrunch に適用することで、NetCrunch に適用されている保守期限も更新されます。リモートアクセスライセンスを購入している場合は、本体ライセンスとあわせてリモートアクセスライセンスを適用する必要があります。

なお、NetCrunch に適用されている保守期限を更新しない場合であっても、既にご利用のバージョン(保守契約を更新する前にリリースされたバージョン)に関しては、継続してご利用いただけます。

5.2 ライセンスの更新手順

ライセンスの更新手順は以下のとおりです。

注意:

古いライセンスファイルを NetCrunch のインストールフォルダ内に保管しておりますと、インストールフォルダ内のライセンスが優先されるため、ライセンスのアップデートが行えません。あらかじめ古いライセンスファイルを削除の上、ライセンスの更新をご試行ください。

ライセンスのアップデートから行う場合:

ライセンスのアップデートから更新を行う場合、NetCrunch がネットワークにアクセスし、新しいライセンスファイルが存在するかを確認します。ネットワークに接続できる環境にてご利用ください。

1. NetCrunch のメインメニュー→[ツール]→[オプション]→[一般]→[ライセンスマネージャ]を開きます。
2.  [ライセンスのアップデート]をクリックしますと、新しいライセンスがインストールされます。
3. [ライセンスマネージャ]にてライセンスの保守契約が更新されていることを確認します。また、NetCrunch のメインメニュー→[?]→[バージョン情報]にて保守期限が更新されたことを確認します。

注意:

[ライセンスのアップデート]は、正規版として稼働している場合に有効となる機能です。評価版として稼働している場合は、MyAdRem から新しいライセンスをダウンロードし、手動でのインストールにてご対応ください。

新しいライセンスをインストールする場合:

NetCrunch 搭載サーバーがネットワークに接続できない環境にある場合は、他のマシン上にて MyAdRem からライセンスファイルをダウンロードしてください。ダウンロードしてライセンスファイルをインストールすることで、NetCrunch に新しい保守期限が適用されます。

1. 「NetCrunch サーバープログラムとライセンスのダウンロード」に従い、ライセンスファイルをダウンロードします。
2. リモートアクセスライセンスを購入している場合は、「NetCrunch リモートアクセスライセンスのダウンロード」に従い、ライセンスファイルをダウンロードします。
3. 「NetCrunch サーバーライセンスのインストール」に従い、ライセンスファイルをインストールします。
4. リモートアクセスライセンスを購入している場合は、「NetCrunch リモートアクセスライセンスのインストール」に従い、ライセンスファイルをインストールします。
5. NetCrunch のメインメニュー→[?]→[バージョン情報]にて保守期限が更新されたことを確認します。

6. AdRem NetCrunch 9 のマイナーバージョンアップ

6.1 イントロダクション

使用している NetCrunch 9 のアンインストールを行い、最新バージョンをインストールすることで、マイナーバージョンアップをすることができます。NetCrunch 9 をアンインストール後もこれまでのデータは残されますので、最新バージョンにデータを引き継ぐことができます。

注意:

NetCrunch 9 のアンインストール時に、プログラムのインストール先フォルダは削除されます。インストール先フォルダとデータ保管フォルダが同じフォルダを使用している場合、NetCrunch 9 のアンインストール時にデータ保管フォルダも削除されるため、データの引き継ぎは行えません。その場合には、アトラスのバックアップファイルをご利用ください。

注意:

最新バージョンにて使用したアトラスは、過去のバージョンでは使用できなくなります。過去のバージョンに戻すことはできませんのでご注意ください。

注意:

マイナーバージョンアップ時、システムが再起動をうながすメッセージが表示される場合があります。

6.2 マイナーバージョンアップの手順

NetCrunch サーバープログラムのマイナーバージョンアップの手順:

マイナーバージョンアップ実施前に、アトラスのバックアップファイルの取得をお願いします。

1. 「NetCrunch サーバープログラムとライセンスのダウンロード」セクションに従い、プログラムのインストールファイルをダウンロードします。
2. NetCrunch コンソールおよびコネクションブローカーを終了します。
3. 現在使用している NetCrunch サーバーを終了します。
※ Windows のスタートメニューなどから[NetCrunch サーバーの停止]をクリックします。
4. ステップ1. にてダウンロードしたインストールファイルを右クリック→[管理者として実行]を選択し、インストールのウィザードを開始します。
※ すでにインストールされているプログラムは、自動的にアンインストールされます。
5. インストールウィザードに従って、インストールを行います。インストール方法は、「NetCrunch サーバープログラムのインストール」セクションと同様となりますが、下記の 2 つのフォルダは、使用していた NetCrunch と同一のフォルダをご指定ください。データ保

管フォルダに異なるフォルダを指定した場合、データは引き継がれませんのでご注意ください。

- a. AdRem NetCrunch 9 のインストール先フォルダ
- b. AdRem NetCrunch 9 のデータ保管フォルダ

NetCrunch コンソールプログラムのマイナーバージョンアップの手順:

1. 「NetCrunch コンソールプログラムのダウンロード」セクションに従い、プログラムのインストールファイルをダウンロードします。
2. 現在使用している NetCrunch コンソールを終了します。
3. タスクトレイ上から現在使用している NetCrunch コネクションブローカーを終了します。
4. ステップ 1. にてダウンロードしましたインストールファイルを右クリック→[管理者として実行]を選択し、インストールのウィザードを開始します。
※ すでにインストールされているプログラムは、自動的にアンインストールされます。
5. インストールウィザードに従って、インストールを行います。インストール方法は、「NetCrunch コンソールプログラムのインストール」セクションと同様となりますが、下記のフォルダは、使用していた NetCrunch と同一のフォルダをご指定願います。
 - a. AdRem NetCrunch 9 のインストール先フォルダ

注意:

NetCrunch コンソールは、接続先となる NetCrunch サーバーと同一のバージョンをご利用ください。

6.3 マイナーバージョンアップの注意事項

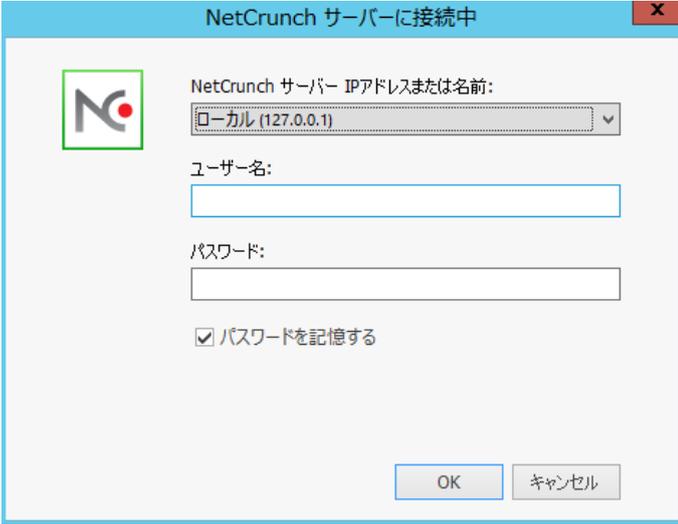
NetCrunch 9.2 での仕様変更の影響により、NetCrunch 9.1 の以下の項目は引き継がれませんのでご注意ください。

- Web アクセス権
- イベント割り当て(イベントログのイベントの割り当て)

Web アクセス権については、NetCrunch 9.1 以前と NetCrunch 9.2 以降で、設定できる権限が異なります。Web アクセス権の設定内容によっては継承されます場合がございますが、マイナーバージョンアップ後には Web アクセス権の確認をお願いいたします。

また、NetCrunch 9.2 での仕様変更により、コンソールでの接続の際にユーザーとパスワードの入力が必要となりました。ローカル (NetCrunch 搭載サーバー上) のコンソールの場合は、ユーザーに Admin を使用します。マイナーバージョンアップ後、コンソールを起動すると以下の画面が表示されます。

AdRem NetCrunch 9 のマイナーバージョンアップ



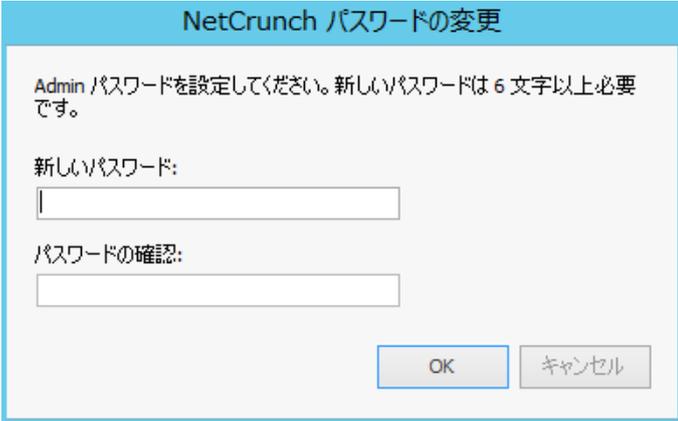
NetCrunch サーバーに接続中

NetCrunch サーバー IPアドレスまたは名前:
ローカル (127.0.0.1)

ユーザー名:
パスワード:
 パスワードを記憶する

OK キャンセル

NetCrunch 9.1 にて Admin にパスワードを設定していた場合は、Admin とパスワードを入力してください。設定していない場合には、ユーザーに Admin を入力し、パスワードは空欄で[OK]をクリックすると、以下の画面が表示されます。



NetCrunch パスワードの変更

Admin パスワードを設定してください。新しいパスワードは 6 文字以上必要です。

新しいパスワード:
パスワードの確認:

OK キャンセル

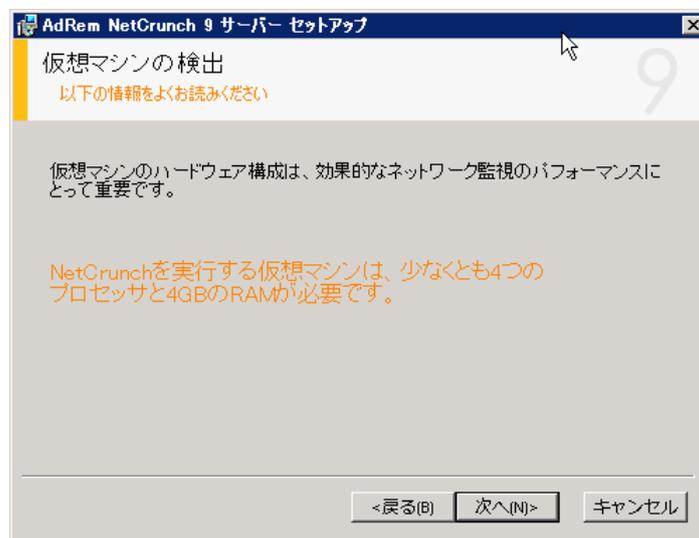
Admin のパスワードを設定すると、コンソールを起動できます。

7. その他

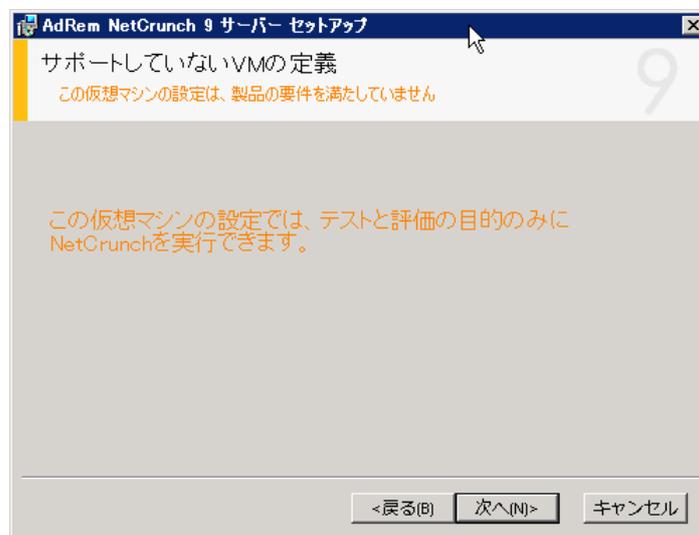
7.1 仮想マシン上へのインストールの注意

NetCrunch サーバーは仮想環境でも問題なく稼働しますが、サーバーとしてのパフォーマンス上の問題がでる可能性があります。仮想マシン上で利用する場合は、少なくとも 4 コアプロセッサと 4GB の物理メモリが必要です。また他の仮想マシンの影響を受けにくい環境で利用するように、ご注意ください。

仮想マシン上へインストールする場合、以下のメッセージが表示されます。



4 コアプロセッサと 4GB の物理メモリを持たない仮想マシンの場合、以下のメッセージが表示されます。最低システム要件に満たない場合、テストと評価の目的のみに NetCrunch を実行できません。



7.2 Admin のパスワードのリセット

NetCrunch 9.2 での仕様変更により、コンソールでの接続の際にユーザーとパスワードの入力が必要となりました。ローカル (NetCrunch 搭載サーバー上) のコンソールの場合は、ユーザーに Admin を使用します。Admin のパスワードが分からない場合、nccli.exe を使用してパスワードをリセットすることができます。nccli.exe は、NetCrunch のインストールフォルダ内に用意されています。

以下に手順を記載します。

1. NetCrunch 搭載サーバーのコマンドプロンプトにて、以下のコマンドを実行します。
nccli.exe reset-admin-password
2. コンソールを起動すると、ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。ユーザー名に Admin、パスワードは空欄に設定の上、[OK] をクリックします。
3. [NetCrunch パスワードの変更] ウィンドウにて Admin のパスワードを設定の上、[OK] をクリックします。

8. 評価版について

評価版について

NetCrunch のソフトウェア上でライセンスを登録するまでは、評価版として機能します。

正規版と評価版のインストーラソフトウェアは同一のものであるため、ライセンス登録までは一旦評価版としてインストールされます。ライセンス登録により、監視設定や監視データを含めて正規版に移行されます。

評価版としてご利用の方は、Premium XE エディションのインストールをお勧めします。Premium XE では、Premium に比べて高パフォーマンスで稼働するため、中～大規模ネットワークの監視が可能となっております。

また、Premium エディションの機能に加え、次の追加機能がご利用いただけます。

物理的ネットワークポロジの視覚化

- VLAN に対応: Cisco, 3Com, Nortel, HP, Alcatel, D-Link
- STP、CDP のプロトコルでトポロジーの検出

アラートコンフィグレーション

- 監視依存関係に基づくイベントの抑制
- 優先監視機能と高速監視オプション
- テキストログ監視センサー
- アラートの拡張機能
- IP SLA オペレーションセンサー

データ管理

- 外部イベントの表示 (イベント未定義の Syslog、SNMPトラップを含む)
- 外部 DB へのトレンドデータの自動エクスポート
(MS SQL Server、MS Access、Oracle、MySQL、Interbase、ODBC)

9. AdRem Software 使用許諾

本ソフトウェアをご使用になる前に、本使用許諾契約の条項をよくお読みください。

このライセンスに付属するソフトウェア (NetCrunch サーバーと NetCrunch コンソール、以下、「本ソフトウェア」) は共に、AdRem Software (以下、「アドレム」) の知的所有物であり、著作権法によって保護されています。

I ライセンス許諾

本ソフトウェアの所有権は引き続きアドレムに帰属しますが、本使用許諾契約に同意したお客様は本ソフトウェアを使用することができます。本ソフトウェアの使用に関するライセンス契約はお客様が購入されたライセンス (プログラムライセンス、リモートアクセスライセンス) を含みます。本使用許諾契約に付属して、またこれに前後して、アドレムのライセンス契約の提供に修正がなされた場合を除き、本ソフトウェアの使用に関するお客様の権利および義務は次のとおりです。

許諾事項:

1. NetCrunch サーバーを一台のコンピュータにインストールして使用すること。
2. NetCrunch コンソールを複数のコンピュータにインストールすること。
3. NetCrunch コンソールを購入したライセンス数以下のコンピュータで使用すること。
4. アドレムに対し書面で通知した上で本ソフトウェアを第三者 (法人を含む) に永久的に譲渡すること。ただし、お客様が本ソフトウェアのコピーを保有せず、譲受人が本使用許諾契約に同意した場合に限ります。

禁止事項:

1. 本ソフトウェアの一部または全部を問わず、再使用許諾、貸与、またはリースをすること。
2. リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、修正、翻訳、本ソフトウェアのソースコードを発見しようとするいかなる試み、本ソフトウェアからの模倣的製品の作成。
3. お客様が本ソフトウェアの代替セットまたはアップグレード版を受け取られ、インストールされたのちに、従前のバージョンまたはコピーを使用すること。本ソフトウェアをアップグレードした場合、従前のバージョンのコピーはすべて破棄するものとします。ただし、アドレムに対し書面で通知した上で本ソフトウェアを第三者 (法人を含む) に永久譲渡した場合、本ソフトウェアの移動は許諾事項とする。

II 技術サポート

技術サポートはメンテナンス・サービスに契約されている本ソフトウェアを持つユーザーに与えられます。提供される技術サポートは次のとおりです。

1. 最新バージョンのサポート(使用方法に関する問合せ、修正プログラム等の提供)
2. 本ソフトウェアの使用方法に関する内容について、電話、電子メールでの質問、相談
3. 本ソフトウェアの次バージョンリリースに伴うダウンロードによる最新バージョンへのアップグレード提供

アドレムは本ソフトウェアに関する技術サービスをお客様に提供するものとします。ただし、アドレムが可能な範囲でこのサービスを提供する権利を留保します。特に、各問題に対してサポートサービスの範囲内で解決方法を提供することを保証するものではありません。

アドレムが技術サポートを提供するのは、本ソフトウェアが開発されたオペレーティングシステムの制御下、条件に基づいて使用された場合にのみとする。

Ⅲ 責任の制限

アドレムは、本ソフトウェアの引渡しから 60 日間にわたって、本ソフトウェアの供給媒体に瑕疵がないことを保証します。この保証内容に違反する事態が生じた場合、お客様の唯一の救済方法として、アドレムは保証期間内に返送を受けた瑕疵のある媒体の代品を提供するか、本ソフトウェアのご購入代金の払い戻しを任意に決定するものとします。アドレムは本ソフトウェアがお客様の要望にかなうものであること、本ソフトウェアの操作に障害が発生しないこと、および、本ソフトウェアに誤りがないことを保証するものではありません。本使用許諾契約で定める救済手段が主たる目的を達することができるかどうかにかかわらず、アドレムはお客様に対し、特別、間接的、付随的または類似の損害(本ソフトウェアの使用または使用不能によって生じうる逸失利益、データ損失を含みますが、これらに限定されません)について、アドレムが当該損害の可能性を通知されていたとしても、一切の責任を負いません。

Ⅳ その他

上記の条件は、アドレムにお客様へ与えられたその他の権利を制限、除外しません。本使用許諾契約はお客様とアドレムが署名した書面によってのみ修正することができます。本使用許諾契約の各項が違法、無効、法的拘束力がない場合、各項目は本契約から除外するものとみなします。ただし、残りの項目の正当性と履行に影響がないものとします。本使用許諾契約に関するご質問は、sales@adremsoft.com までお問い合わせください。